



進路だより

宮城県立支援学校小牛田高等学園

進路指導部

平成 27 年 10 月 2 日発行：第 4 号

文責 佐々木

進路学習の秋！自分の将来について考えよう！

暑かった夏が過ぎ、9月は進路に関する行事が続き、卒業後の仕事や生活について考える機会を多くもつことができました。10月7日からの後期現場実習を前に生徒の進路に対する意識も一層高まり、より具体的に自分の将来を考えた取り組みになるものと期待しています。



後期現場実習が始まります！10月7日(水)～28日(水)15日間

来週から全学年が3週間にわたる現場実習に入ります。今回も多くの事業所より実際の現場で学習する場を提供していただきます。実習は単なるイベントではありません。日々の生活でいかに自分の課題を意識して学習に取り組んできたか、その成果が問われます。1, 2年生は「働くとは何か」「働くためには何を身に付けなければならないか」実際の体験を通して学んできて欲しいと思います。3年生にとっては、進路を決定する実習となります。意欲を前面に出して元気に仕事に取り組んで欲しいと思います。また、今回は期間中に3連休があるので、休みの過ごし方や体調管理なども評価されます。卒業後の自分の姿をイメージしながら、最後まで緊張感を持続させてやり抜くことを期待しています！

- 現場実習の目的**
- ・ 勤労の意義を実際の体験を通して理解し、働くために必要な態度、技能・知識などを身に付ける。
 - ・ 進路決定に向けての意欲を喚起し、自己の適切な進路と将来の生活について考える。



基本的なことですが、次のことは働く基盤となりますので、御家庭でも話題にさせていただきたいと思います。

- ★挨拶・返事をはっきり言えますか？
- ★自己管理をして毎日休まず出勤することができますか？
- ★公共交通機関などを適切に利用し、自力で通勤することができますか？
- ★1日の勤務時間中、集中して仕事することができますか？
- ★わからないこと、困ったことなどを自分から伝えることができますか？
- ★注意されたことを素直に受け入れることができますか？
- ★指示されたとおりに仕事をすることができますか？

御家庭のサポートを よろしくお願いします！

- ☆食事や睡眠など生活リズムに御配慮下さい。
- ☆実習日誌で実習の様子を御確認下さい。「家庭からの連絡」欄を活用して下さい。
- ☆お子さんの働く姿を見学して下さい。(詳細は実習担当教員より御連絡いたします)
- ☆台風等天候不良が予測される場合は、対応を決めて事業所および御家庭に連絡します。

ジョブカフェセミナー 9月1日実施

1～3年生の職業の時間に外部講師としてキャリアカウンセラーの岡本江美先生をお招きし、会社に訪問した際の細かい所作や言葉遣いについて御講義をいただきました。服装や表情、礼のタイミング、話し方など具体的に御指導いただき、生徒たちは緊張しながらも真剣に実践練習に取り組みました。講師の岡本先生からは「相手に伝えたいことを自分の言葉できちんと話すことができる」と高い評価をいただきました。



進路指導充実事業 卒業生事例発表会 9月25日実施



9月25日（金）、本校体育館において「職場で長く働き続けるために」というテーマで卒業生の事例発表会を開催しました。就職した卒業生より進路決定から現在の仕事・生活までの発表、就職先からは企業の支援体制と障害者雇用について、そして支援機関からは就労生活を支えるためにという話題でお話していただきました。

卒業生の就職先では、初めての障害者雇用が体制を見直すきっかけになったとのことで、本人の意欲の確認・能力の把握、定期的な面談や雇用形態の見直しなど長く働ける支援体制を整え、卒業生を育てていることがわかりました。今回は老人介護施設での支援体制を紹介しましたが、他業種の企業での雇用にも繋がることを期待しています。また、卒業後の相談機関として就業・生活支援センターの役割についてもお話していただきました。卒業後も様々な支援機関から必要な支援を受けながら、離職することなく就労生活を続けていってほしいと思います。

当日は本校保護者を含め外部から130人を超える方々の参加があり、それぞれの視点から支援機関や雇用側の意見を聞いていただきました。本校在校生や教職員にとっても、卒業生が働く姿をとおして就労生活をイメージし、今必要なことを考える機会になったようです。

生徒の感想及び参加者からのアンケートより

- ☆就職はゴールではなくスタートであるということを学んだので、できる限り長く働き続けられるようにしたいと思います。（本校生徒）
- ☆就労に向けた就職後の連携の重要性について再認識した。このような企業が増えてほしいものだと感じた。卒業生の声を聞くことができ、良い刺激になった。卒業生の生の声をもっと聞きたい。（本校保護者）
- ☆受け入れる側として何が必要なかわかった。受け入れる側の企業文化が大きく問われる。人を採用するという事はお互い長い付き合いになるということ。どんな人を採用しても成長し合える社風づくりが何よりも必要と感じた。初めて参加したが、生徒も親も企業も人としての学びの場があることに感激した。（企業関係）
- ☆就業・生活支援センターの支援についても知る機会になり、不安の軽減や活用につながるとよいと思いました。（福祉関係機関）
- ☆今後の子供の進路・就労にとても参考になり、これから家庭でも実施していきたいです。来年は本人も連れてきたいです。（中学校保護者）

